

平成30年度学校運営計画書

学校名 東山東小学校

校長名 山下 真二

作成日 平成30年5月2日

学校教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成

実行する子ども

心の豊かな子ども

考える子ども

開かれた学校

ゆたかな心・健康な体

確かな学力

	開かれた学校	ゆたかな心・健康な体	確かな学力
本年度の重点目標	○保護者や地域のニーズをふまえ、学校運営に生かす。 ○学校の様子を広く知ってもらうため、公開、発信を心がける。 ○地域の方々や外部講師とのふれあいの機会を増やし、子ども達の視野を広げ、成長を促す。	○考える道徳を通して豊かな心情を養う。 ○総合的な学習の時間・特別活動及び全ての教科を通して自己肯定感と、他者を思いやる心を培う。 ○健やかな日常生活を送ることができるよう、健康な体の育成を目指す。	○基礎基本の定着、言語活動の充実を図る。 ○学習習慣を確立し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題解決をしていく子どもの育成を図る。 ○自ら学ぶ学習を実践するための研修の充実を図る。
目標達成に向けた具体的方策	○学校が行っている教育活動等をホームページなども活用して数多く発信し、保護者や地域の方々に学校の様子を積極的に知らせる。 ○地域に居住する方々の協力を得て、教育資源として活用させて頂き、子ども達とのふれあいの場を多く設ける。 ○四季の郷公園のイベントや、山東まちづくり会などの地域の活動に積極的に参加し交流を深める。 ○学校運営協議会制度を導入し、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める。	○教科「道徳」に伴い年間の指導計画を見直し、考える道徳を実践していく。 ○遠足や運動会における活動単位としての他学年の縦割り活動を通して、リーダーシップや他者を思いやる心を育てる。 ○児童会を中心とした「朝の挨拶」運動を通して他者との関わりを数多く持てる機会を増やす。 ○体育の授業において、かけっこやランニングを取り入れ体力、持続力の増進を図る。楽しい雰囲気の中での体力作り、筋力作りを行う。 ○学年遊びや交流学年遊びを行い、体力作りの機会にすると共に協力や思いやりの心の育成を図る。	○外国語活動を初め、全ての教科を通して、自分の考えを効果的に相手に伝えられるような態度を養う。 ○「和歌山県の授業基礎基本3カ条」を実践し毎時間の授業を充実させる。 ○「紀州っこ学びノート」の積極的な活用を図る。 ○出前授業や校外学習の機会を増やし、子どもが興味を持って学習に取り組める環境をつくる。 ○「家庭学習の手引き」を、保護者に配布、説明し、家庭学習の大切さの理解を求め、家庭の協力を仰ぐ。 ○楽しみながら主体的に考える場の設定を考え、考える楽しさを味あわせる。
指標	○学校の様子がよく伝わった（保護者75%） ○地域とかかわった実践を全学級で実践する。 ○ホームページ閲覧数年間10000カウント	○学校が楽しい（児童90%） ○いじめの解消率100% ○新体力テストで全国平均を上回る。	○全国学力・学習状況調査においてすべての教科で県平均を上回る。 ○県学習到達度調査ですべての教科、学年で県平均を上回る。 ○わかる授業、児童が主体的に取り組む（児童80%）